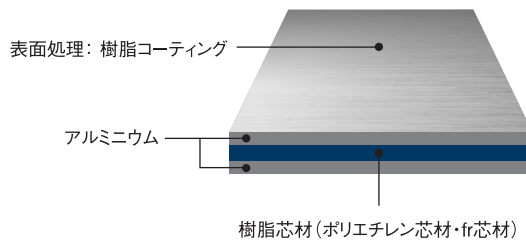


ALPOLIC® ~設計・施工される皆様へ~

ALPOLIC®とは

アルポリック®は樹脂芯材をアルミニウムではさんだ複合材で、そのうち、防火認定を取得した製品をアルポリック/fr®と呼びます。

アルポリック®は表面処理によって様々な意匠を発揮します。また、芯材が樹脂のためさまざまな加工が可能です。



ALPOLIC®の加工方法

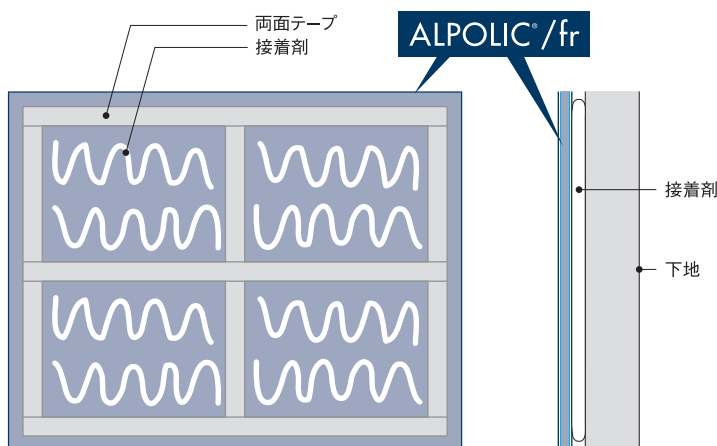
切断	切削・溝ぎり	曲げ	直角曲げ
<ul style="list-style-type: none"> ●丸鋸 ●ランニングソー ●ジグソー ●カッター ●鋸(金物用、木工用、プラスチック用) ●スクエアシャー 	<ul style="list-style-type: none"> ●ハンドトリマー ●かんな ●フライス盤 ●CNCルーター ●プレイナー 	<ul style="list-style-type: none"> ●ロールバンダー(3本ロール) ●ロールフォーミング ●プレスブレーキ 	<ul style="list-style-type: none"> ●切削により溝をほった場合は、工具なしで曲げることも可能です。
穴あけ	パンチング	接合	
<ul style="list-style-type: none"> ●ハンドドリル ●プレス(打抜き) ●ボール盤 ●ホールソー 	<ul style="list-style-type: none"> ●プレス(打ち抜き) ●パンチング加工した場合、防火認定は適用外となりますのでご注意ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●接着剤 ●両面テープ ●リベット ●ボルト ●ビス ●ジョイナー 	

※表面が鏡面仕上げになっている「アルポリック® RF(2mm厚品)」の曲げ加工は、ロールバンダー(3本ロール)のみ可能です。

「アルポリック/fr® RF(3mm厚品)」は、曲げ加工および切削によるVカット曲げはできません。

※加工方法の詳細や銘柄の違いによる加工の可否は、弊社までお問い合わせください。

内装圧着貼りの施工方法例



■直貼り下地の例

好ましい下地 ※1	好ましくない下地
○プラスターボード	×ALC、RC面
○ケイカル板・フレキ板 ※2	×クロス面、化粧紙面
○軽量鉄骨材(コンロ廻り以外)	×凹凸のある下地

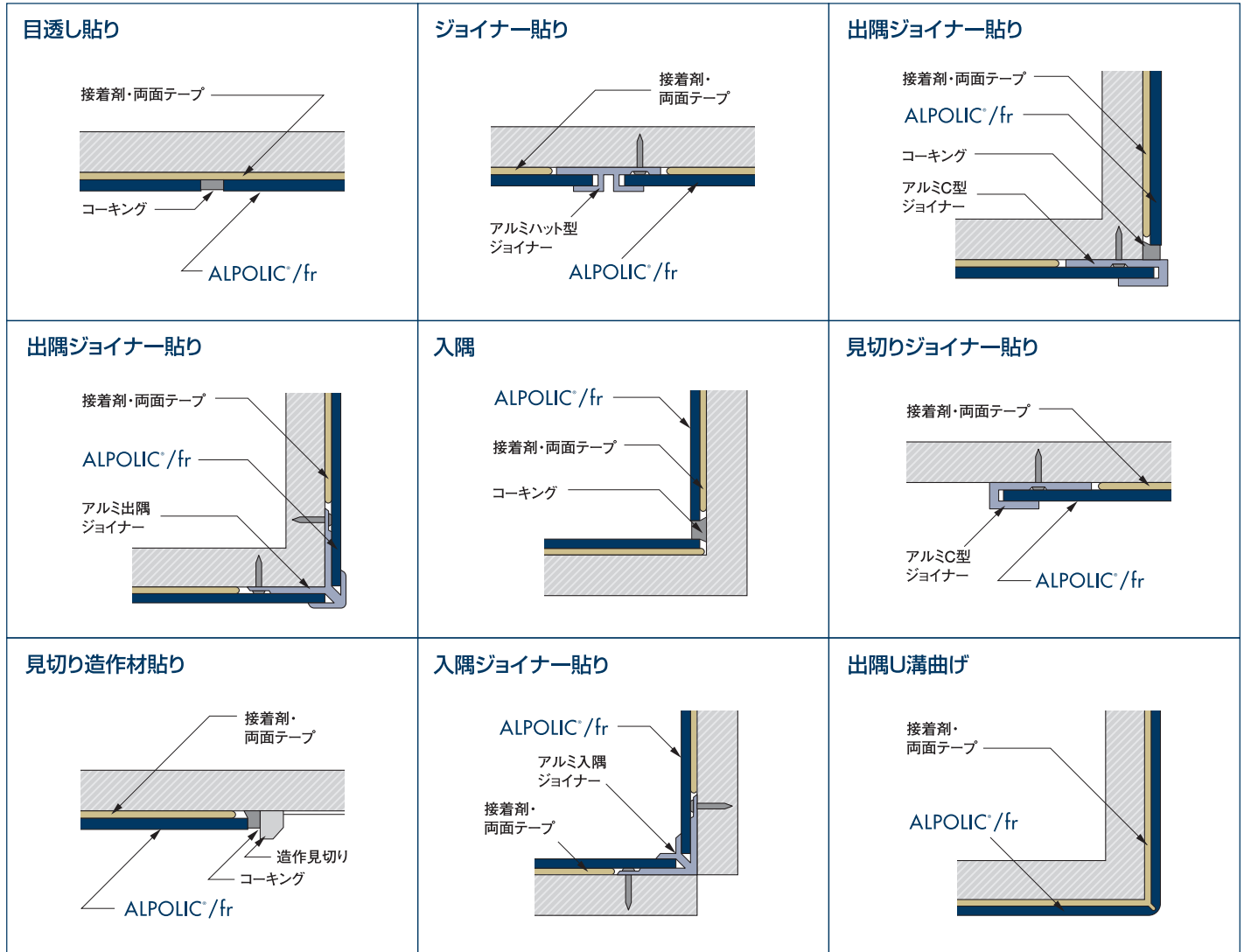
※1 下地材の選定や構造の作成は、建築基準法等の法令・法規に適合したものをお選びください。
 ※2 ケイカル板・フレキ板の場合は、市販のシーラーなどによる下地処理が必要になります。

■使用部材の例

使用テープ	使用接着剤	使用シーリング剤	
TMテープ	MPX-1	ボンド変性シリコンコーク	コニシ社
ボードテープ310	PM165	POSシール	セメダイン社
ZK-31、ZK-32	エコボンドSE-1	—	アイカ工業社

※圧着貼りするときは接着剤と両面テープを併用して貼り付け、圧着してください。
 その際、両面テープは仮留めとしてお使いいただき、接着剤は弾性の接着剤をお使いください。
 なお、ご紹介した施工方法は一例であり、工法自体を保証、限定するものではありません。
 この他にも各接着剤メーカー様の出されている工法もございます。
 ※本工法による仕上げ面は、上表の副資材を使用した場合においても、多少のゆがみが認識される可能性があります。

標準的な納まりの例



推奨ジョイナー	商品名	商品記号	備考
(株) 創建	アルミハット型ジョイナー	55080 (アルミ300MH)	記載している個別のジョイナーの品名は(株)創建のシルバー色のアルミジョイナーを紹介しておりますが、材質、色はお好みによってお選び下さい。なお、弊社ではジョイナーの取り扱いはありません。
	アルミC型ジョイナー	54025 (アルミ3.5CS)	
	アルミ出隅ジョイナー	55013 (アルミDA-3.5)	
	アルミ入隅ジョイナー	55033 (アルミBF-3.5)	

設計・施工の前に必ずお読みください

- ⚠️ アルポリック®の切断面は大変危険ですので、手を切る恐れがあります。保護手袋を使うなど取扱いはできるだけ慎重に行ってください。**
- シルバー系、ヘアライン、メタリック、木目調、石目調は、柄目・色目がありますので、縦横を統一してご使用ください。
- シルバー系を大量にご使用になる場合は、ロット間で色調差が発生する恐れがありますので、ご注文の際は弊社にご相談ください。
- アルポリック®の熱変形温度はポリエチレン単体と比較して高く、約110℃前後です。そのため大きな力がかからず短時間であれば100℃程度の高温にも耐えられます。ただし、実用上、高温雰囲気では長時間使用する場合は70℃以下でご使用ください。
- RFのような鏡面の製品は大板での映り具合(ゆがみ・明度)の確認をお勧めします。
- アルポリック®の面材はアルミのため、腐食のメカニズムはアルミ単板と同様に起こります。酸性やアルカリ性の物質(土やモルタル等)とは直接の接触を避けてご使用ください。
- アルポリック®の端部(ごち)が、アルミニウムを侵す環境(特に海岸部等)では、注意してご使用ください。
- アルポリック®の面材は、アルミニウムであり、湿潤状態で異種金属と接触すると電位差によって、電食が発生します。接合に使用するリベット・ボルト類は、電食等を考慮し、材質の選定を行ってください。
- 表面の保護フィルムは直射日光・湿気により劣化し、糊残り等の問題をおこす恐れがありますので、乾燥した室内に保管するようにしてください。また施工完了後は速やかにはがしてください。
- 保護フィルムの上から接着テープやマジックを使用すると、アルポリック®の表面にその跡がうつることがありますのでご注意ください。
- アルミニウムプラスチック複合材ですので、割れにくい素材ですが、衝撃又は異物の挟み込みにより、打こん・へこみ・エッジの変形が発生する恐れがあります。運搬・保管・加工、および施工時には十分注意してください。
- アルポリック®塗装板は、その表面に付着したごみやほこりを適宜清掃し、除去することによりいつでも美しい外観を保つ事が出来ます。クリーニングは、柔らかい布で、中性洗剤にて汚れを除去し水洗後乾拭してください。研磨剤クリーナーやスチールワールは使用しないでください。酸性やアルカリ洗剤および有機溶剤は使用しないでください。アルミの腐食、塗膜のハガレ、艶落ちの原因となります。
- アルポリック®に塗装する場合、アルポリック®は芯材にポリエチレンを使用しておりますので低温焼付硬化型あるいは常温硬化型の塗料を使用し、焼付乾燥炉内の温度も均一になる様に注意して、板表面温度90℃以下の温度で焼付乾燥してください。
- RFは、屋外や屋内でも水分雰囲気のあるところでの使用は避けてください。

三菱ケミカル株式会社 高機能成形材料部門 機能成形複合材本部

アルポリック複合材事業部 国内営業グループ

本社	〒100-8251 東京都千代田区丸の内1-1-1	パレスビル	tel.03-6748-7349	fax.03-3286-1354
北海道	〒060-0807 札幌市北区北七条西4-3-1	新北海道ビル	tel.011-746-6241	fax.011-746-7427
中部	〒450-6419 名古屋市中村区名駅3-28-12	大名古屋ビルヂング	tel.052-565-3584	fax.052-564-0216
大阪	〒541-0044 大阪市中央区伏見町4-1-1	明治安田生命大阪御堂筋ビル	tel.06-6204-8470	fax.06-6204-8474
九州	〒812-0026 福岡市博多区上川端町12-20	ふくぎん博多ビル	tel.092-262-9405	fax.092-262-5114

●本カタログ記載の内容については、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
●本カタログからの無断転載を禁じます。